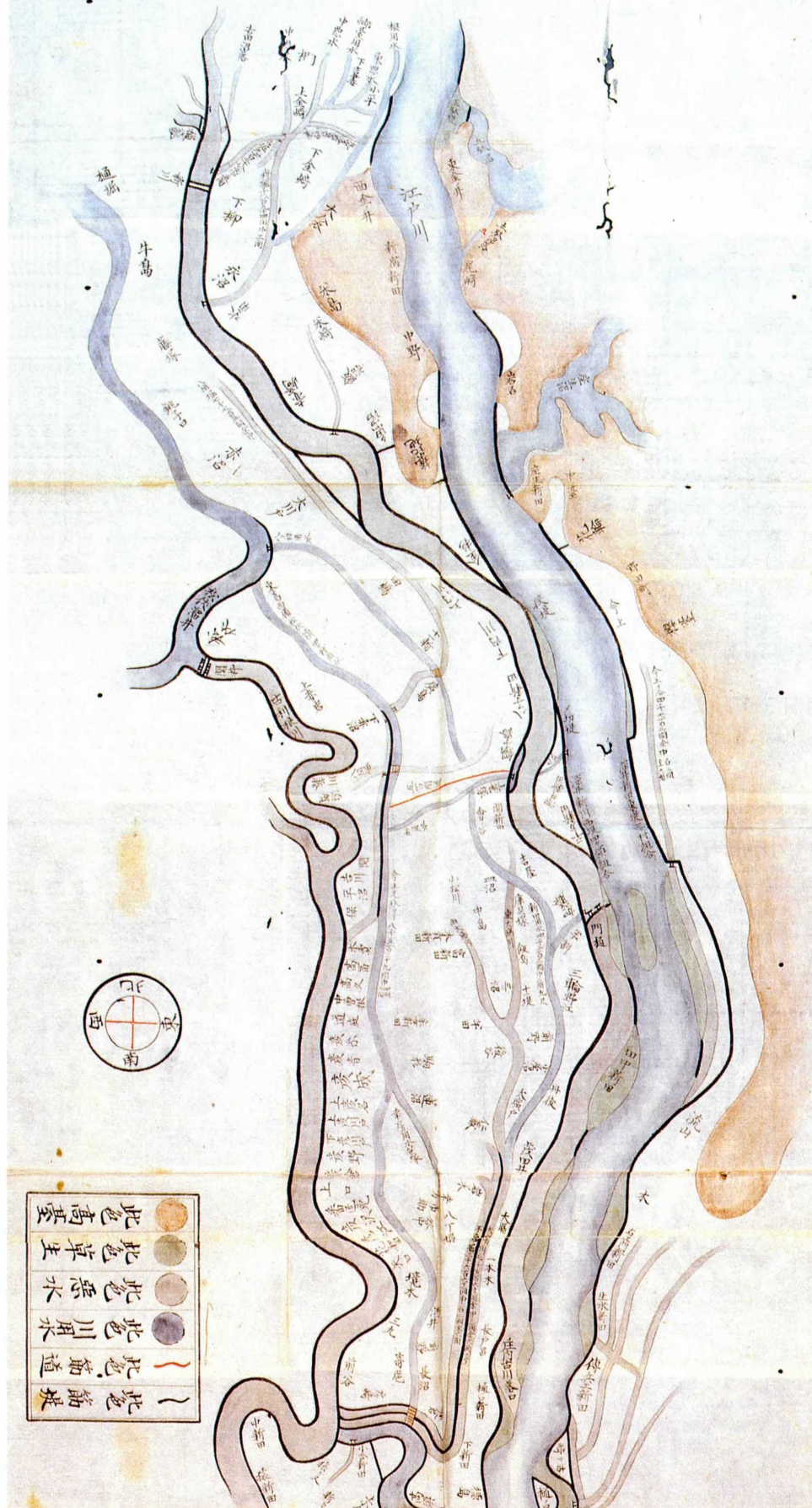


第18回 収蔵文書展

# 東部低地 北葛飾郡域のくらしと文書



- |       |
|-------|
| 此色高臺  |
| 此色草生  |
| 此色悪水  |
| 此色川原水 |
| 此色筋道  |
| 此色筋城  |

1992.1.18(土)~4.12(日)

埼玉県立文書館

## 開催にあたって

埼玉県立文書館は、「郷土についての歴史的価値のある文書及び記録並びに県の公文書その他必要な資料」の収集・保存を図るとともに、これを計画的に整理して、研究者をはじめ、一般県民の方々にご覧いただいております。現在では古文書約32万点、行政文書約6万冊の原文書を収蔵しておりますが、昨年度は古文書約5,200点、行政文書228冊（約1万件）についての目録を刊行いたしました。

このうちの古文書はいずれも現在の北葛飾郡域に残された文書群です。そこで、今回の収蔵文書展では、これまでに整理したのものを含め、同郡域の文書を一同に集め展示することにいたしました。北葛飾郡はそのほとんどが、大宮台地と下総台地にはさまれた東部低地（中川低地）上にあり、江戸時代を通じて中川（権現堂川、庄内古川）や江戸川の洪水になやまされた地域であり、その歴史はまさに「水とのたたかい」の歴史でもあります。また、この地域は武蔵と下総の国境として、明治に入ると埼玉と千葉の県境として錯綜した支配の変遷を受けた地域でもあります。

展示は、水との関わりを中心に「地域のようす」「たび重なる洪水」「水防と普請」「用悪水とその管理」「舟運と産業」「村の生活と文化」の6コーナーで構成し、より多くの文書を展示するように努めました。今回の展示によりこの地域の歴史的特徴が少しでも明らかになればと考えています。

また、文書館では昨年2月に「歴史資料の保存及び利用に関する規程」を制定し、有期限の行政文書のうち、学術・研究・歴史上重要と思われる文書の利用についての手続きを整備しました。今回の展示では、同時にこの歴史資料の紹介をおこなうコーナーを設けましたので、併せてご覧いただければ幸いです。

最後にこの文書展を開催するにあたり、貴重な文書を提供していただきました多くの寄贈・寄託者の方々に厚く感謝申し上げます。

平成4年正月

埼玉県立文書館長

## 文書館で閲覧できる北葛飾郡域の文書

(平成4年1月18日現在)

9	白石家文書 西大輪村（現鷺宮町）名主白石家文書	6,000点
26	田口(栄)家文書 東大輪村（現鷺宮町）名主田口家文書	2,343点
8	遠藤家文書 千塚村（現幸手市）名主遠藤家文書	650点
16	幸手市立図書館文書（川田稷氏収集文書） 川田稷氏が収集し、幸手市立図書館から寄託された文書 長間村、平須賀村、上宇和田村（いずれも現幸手市）関係を含む。	395点
17	船川家文書 平須賀村（現幸手市）名主船川家文書	2,572点
16	旧不動院（金子家）文書 小瀬村（現春日部市）旧不動院住職金子家文書	33点
8	大島有隣文書 大島村（現杉戸町）出身心学者大島有隣関係文書	69点
30	藤城家文書 大島村（現杉戸町）名主藤城家文書	2,361点
16	鈴木(宗)家文書 築比地村（現松伏町）鈴木家文書	72点
21	観音寺文書 築比地村（現松伏町）観音寺文書	92点
21	杉浦家文書 大川戸村（現松伏町）伊奈氏家臣杉浦家文書	203点
10	土生津家文書 上金崎村（現庄和町）名主土生津家文書	6,322点
12	小林家文書 下柳村（現庄和町）名主小林家文書	2,634点
26	中川家文書 西宝珠花村（現庄和町）商家中川家文書	5,085点
30	小島(栄)家文書 米嶋村（現庄和町）名主小島家文書	1,268点
30	増田家文書 永沼村（現庄和町）名主増田家文書	1,636点
21	高崎家文書 会野谷村（現吉川町）本山派修験真藏院文書	33点
21	戸張家文書 平沼村（現吉川町）関宿城主築田氏配下戸張家文書	7点
21	藤井(昌)家文書 木売村（現吉川町）清浄寺文書	7点
27	長谷川(勇)氏収集文書 中曽根村（現吉川町）名主豊田家文書	518点
8	千代田家文書 下彦川戸村（現三郷市）名主千代田家文書	47点

※各文書名の前にある数字は文書館収蔵文書目録の番号（第〇集）である。なお、この他にも諸家文書のなかに関連文書が若干含まれている。

(表紙「葛飾郡南部用水絵図」田口(栄)家1800)

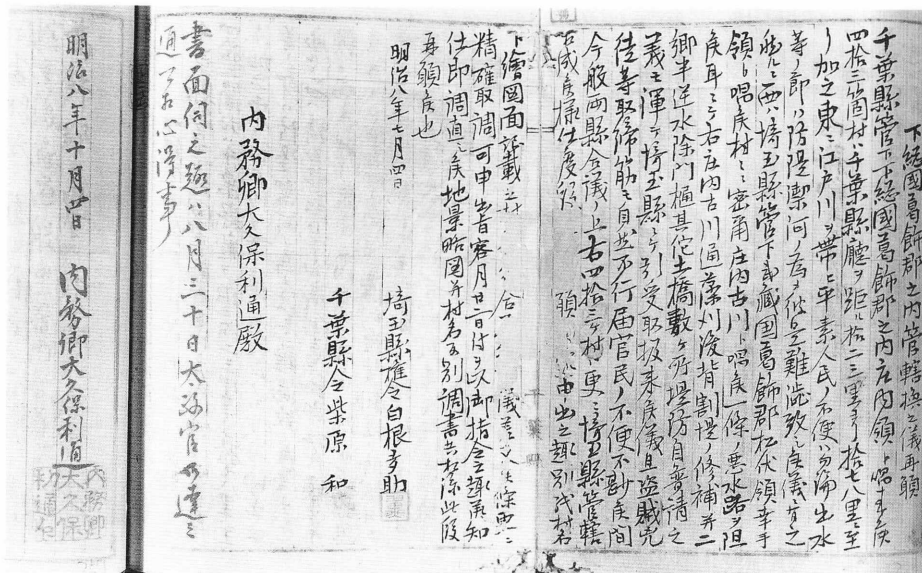
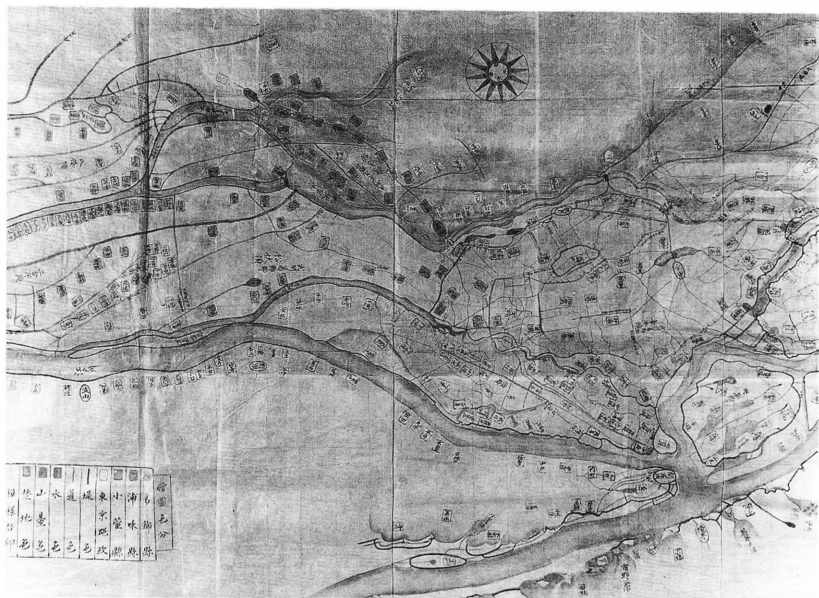
## 地域のように

東部低地（中川低地）は、東西を大宮台地と下総台地にはさまれた地域であり、同時に古利根川、中川（島川、権現堂川、庄内古川を含む）、江戸川が南北に流れる「水に囲まれた地域」です。このため、常に洪水の危機にさらされるとともに、湛水に悩まされた地域であり、安定した水の確保と余水の処理に苦しんだところです。このため、江戸時代を通じて数多くの河川改修が行われていますが、それはまた同時に境としての河川の位置の移動をもたらし、国境、県境の変遷に揺れた地域でもありました。

〔葛西用水十ヶ領組合村絵図〕

（白石家5972）

葛西用水十ヶ領組合の領々絵図であるが、現在の北葛飾郡域が江戸川、赤堀川、葛西用水（中川）に囲まれた低地帯であり、縦横にはりめぐらされた用悪水網とともに、この地域が水に苦しんだ地域であることがみてとれる。このうち、権現堂川、庄内古川を境にして下総国に属していた訳であるが、この図は明治初期に描かれたものであり、幸手領、島中川辺領、松伏領、庄内領が葛飾県に、二郷半領が小菅県に属している。



明治8 下総国葛飾郡之内管轄換之儀再願  
(行政文書 明3679)

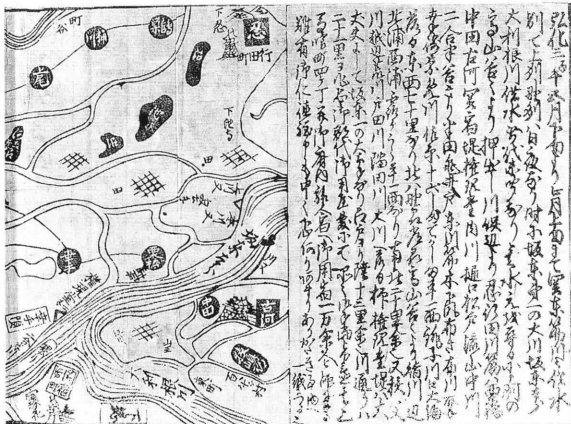
埼玉県と千葉県が合議の上、千葉県の管下にある庄内領43ヶ村の埼玉県への管轄換を願い出たときのものである。8月30日の太政官達によりこの願が受け入れられたことがわかる。

# たび重なる洪水

江戸時代初期の利根川東遷によって水量は減ったものの、一度大雨が降ると権現堂川や庄内古川、江戸川の堤はすぐに破れ、東部低地はたちまち大きな災害を被りました。特に、寛保2年(1742)、宝暦7年(1757)、明和3年(1766)、天明3年(1783)、天明6年(1786)、弘化3年(1846)、安政6年(1859)の洪水が大きなものとして知られていますが、ここではその被害の状況を表す文書とこれに関連してとられた救済措置を表す文書を中心に紹介しています。

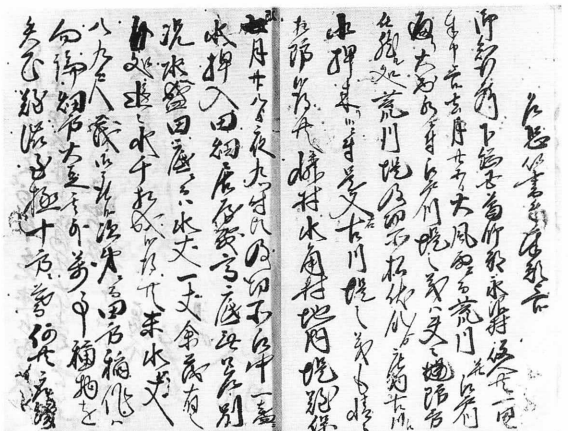
## 延宝3 乍恐口上書を以奉願上候事(水損二付) (小島(栄)家735)

庄内領新田が窪地であり、春からの洪水によって麦作が損毛し、大豆、小豆、粟も残らず水腐したことを述べ、年貢上納の延期を願った文書である。庄内領は現在は水田地帯であるが、当時は畑作が主体であった。



〔弘化3〕利根川流路説明図 (川島家1179)

弘化3年の5月下旬から7月上旬にかけての関東筋川々洪水に際して出されたもので、木版刷となっている。水害に対する幕府の救済措置に感謝して出されたものであることが読みとれる。



安政5 諸願書控帳 (増田家425)

安政6年7月25日の大風雨により、江戸川の水防手当にもかかわらず、荒川堤が切れたため、松伏領から庄内古川へ水が押し寄せ、水角村地内の堤が切れ永沼村一帯が被害にあったことを伝えている。

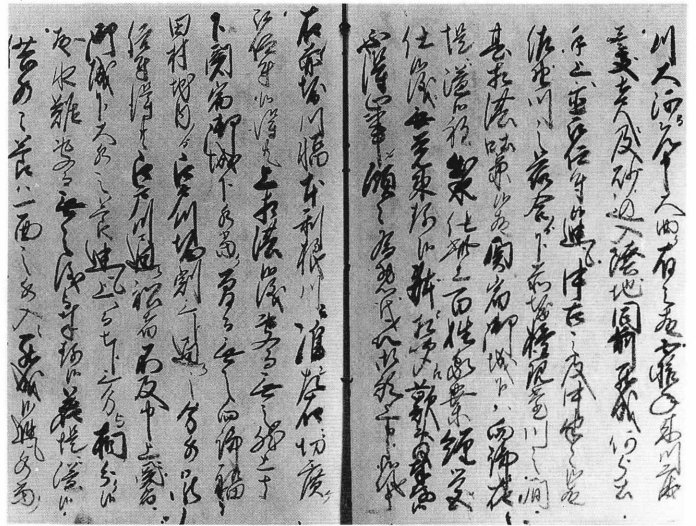
# 水防と普請

洪水による被害は、年貢徴収に影響を及ぼすばかりでなく、その救済や復旧事業は幕府や藩の財政にも大きな負担となってきます。また、農民自身にとっても日々の生活に直接関わってくる問題です。このため、河川の改修と水防堤の整備は重要な事業として取り組まれ、時には、幕府や藩と村の間、また関連する村と村の間でその負担をめぐる、盛んなやりとりが行われることがありました。ここでは、江戸川、赤堀川、権現堂川、庄内古川の水防と普請関係文書を紹介しています。

## 東部低地に係る 河川改修・用悪水関係略年表

文禄3 (1594)	利根川瀬替え(会の川通り埼玉郡川俣村で締切る)
元和7 (1621)	新川通りと赤堀川疎通、利根川の河道を渡良瀬川につなぐ(旧河道=古利根川)
寛永18 (1641)	逆川開削(関宿・金杉間の新川=江戸川が開かれる)
寛永20 (1643)	古利根川筋松伏溜井開発、中島用水開削
承応3 (1654)	赤堀川掘り下げ(鬼怒川へ付替普請)
万治3 (1660)	幸手用水開削(本川俣へ用水元を設置)、松伏溜本田用水開削
延宝3 (1675)	二郷半領悪水堀大場川開削
享保4 (1719)	上川俣に増埝樋設置、幸手用水につなげ葛西用水とする
11 (1726)	葛西用水瓦曾根溜井に悪水落し関棧2ヶ所新設
13 (1728)	江戸川通り金杉・深井新田間樋ノ口・小向間直道工事
15 (1730)	庄内古川、加藤村まで堀継
宝暦6 (1756)	松伏溜井に関棧2ヶ所新設
宝暦6 (1756)	庄内古川加藤落合浚い切広げに係る争論内済
9 (1759)	島中川逆領高柳・北大桑間に逆水留門樋設置
寛政6 (1794)	幸手宿名主知久文左衛門、権現堂川の水防について建言
12 (1800)	庄内古川、丹後村まで堀継
文化6 (1809)	赤堀川切広げ
7 (1810)	庄内古川切広げ
天保4 (1833)	北大桑逆水留門樋幸手領八甫に、向河辺領悪水落しは外国府間に模様替えの裁許
9 (1838)	庄内古川長土呂村まで堀継(～天保10年)
14 (1843)	赤堀川切広げ決定
明治4 (1871)	赤堀川切広げ

(「新編埼玉県史 別編4(年表)」等により作成)



〔宝暦～文化〕 〔村々訴願留〕 (田口(栄)家241)



明和9 〔八甫村堤切所普請二付〕 (船川家1341)

# 用悪水とその管理

この地域は低湿地帯であり、洪水に悩まされると同時に、安定した水の供給と余水（悪水）の処理を必要とする地域でもありました。江戸時代、この地域は嶋中川辺領、幸手領、庄内領、松伏領、二郷半領などに分かれていましたが、それぞれの用悪水ごとに、関連する領あるいは領内のいくつかの村で用悪水組合をつくり、塚樋の伏替や修繕、藻刈や浚などを共同で行ったり、その費用を分担したりしています。また、この負担をめぐる争いもあり、特に高場と低場の村々の間では頻りに争論を起こしています。

幸手領内鑑	堤通組合 倉松村 高野落堀組合 同九ヶ領半組合 南側用水路組合 中郷用水路組合 北側用水路組合 庄内古川組合 深井新川西堤組合	下郷邑々 杖之尾 清地村 倉松村 安倉	榎龍村 神角邑 遠野村 下吉野邑	高野落堀組合 同九ヶ領半組合 南側用水路組合 中郷用水路組合 北側用水路組合 庄内古川組合 深井新川西堤組合	高野落堀組合 同九ヶ領半組合 南側用水路組合 中郷用水路組合 北側用水路組合 庄内古川組合 深井新川西堤組合	高野落堀組合 同九ヶ領半組合 南側用水路組合 中郷用水路組合 北側用水路組合 庄内古川組合 深井新川西堤組合	高野落堀組合 同九ヶ領半組合 南側用水路組合 中郷用水路組合 北側用水路組合 庄内古川組合 深井新川西堤組合	高野落堀組合 同九ヶ領半組合 南側用水路組合 中郷用水路組合 北側用水路組合 庄内古川組合 深井新川西堤組合	高野落堀組合 同九ヶ領半組合 南側用水路組合 中郷用水路組合 北側用水路組合 庄内古川組合 深井新川西堤組合
-------	---	---------------------------------	---------------------------	--	--	--	--	--	--

文政10 幸手領内鑑 (藤城家1188)

幸手領内の村々が関係する堤通組合、川俣井筋拾ヶ領組合、同九ヶ領半組合、南側用水路組合、中郷用水路組合、北側用水路組合、庄内古川組合、深井新川西堤組合、倉松落堀組合、安戸落堀組合など13の用悪水組合等を一覧化したものである。

## 舟運と産業

河川は、洪水を引き起こす源として、克服すべき対象、管理すべき対象としての側面をもつとともに、それはまた多くの人や荷物を遠くへ運ぶ足として地域の人に恩恵を与えてきました。舟運とそれを利用した商業の発達です。江戸への出荷とともに、多くの商品が各地から運ばれてきています。舟運を表す文書は余り収蔵されていませんが、わずかな文書からも当時の活発な状況が偲べれます。また、ここではこの地域の農間余業に関する文書も紹介しています。

### 嘉永2 送り状 (中川家420)

中川家は代々釜屋(釜源)を営み、特に江戸川宝珠花河岸華やかなりし頃は鉄具屋・釜市とともに宝珠花御三家といわれた商家である。文書は、忍行田日野屋から酒が積送られたときの送り状であり、須加河岸から関宿孫之丞舟によって運ばれたことがわかる。



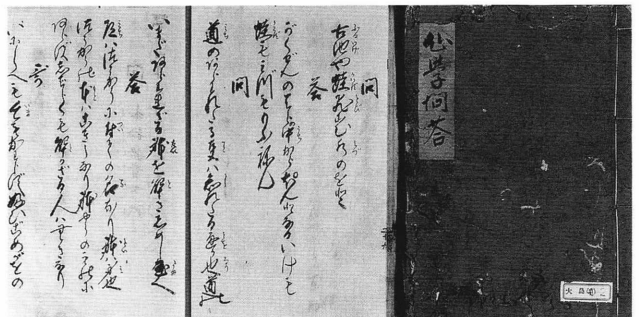
## 村の生活と文化

水に苦しんだ地域の人々は、より一層まとまり力を合わせて生活しています。村の生活を具体的に表す文書は余り残されていませんが、ここでは村内部の議定や郷約を紹介します。信仰の面では、葛飾郡域は香取神社の信仰圏としての特徴があります。また、この地域は幕末期の心学者大島有隣の出身地でもあり、多くの心学書が残されています。このため、文化としてはこの心学関係と江戸(東京)との往来を中心として形成された幕末から明治にかけての俳諧関係等を取り上げました。



### 天保2 [香取神社大破二付] (船川家2353)

香取神社が大破したので、その修復費用を捻出するための相撲興行を願い出た際の文書である。松野長重郎は平須賀村の相知行旗本、曾我豊後は勘定奉行曾我助弼である。



### 心学問答 (大島有隣2,3)

心学とは、江戸時代中期に石田梅岩を始祖として興った人生哲学、またこれを弘めようとした社会教化運動である。大島有隣は、天明3年(1783)江戸に出て中沢道二の門に入り、同5年郷里で関口保宣、藤城吉右衛門と恭儉舎を設立して心学を広めた。

## 展 示 文 書 目 録 (東部低地<北葛飾郡域>のくらしと文書)

年 号 ( 西 暦 )	文 書 名	文 書 番 号
<b>地域のようす</b>		
寛保 2 (1742)	村亥出シ帳	長谷川(勇)氏 12
明和 7 (1770)	[寛保元年築比地村絵図]	鈴木(宗)家 12
安永 6 (1777)	村鑑帳	藤城家 52
宝暦11 (1761)	[下柳村絵図]	小林家 2628
天保 9 (1838)	[中曽根村絵図]	長谷川(勇)氏 493
明治 4 (1871)	葛西用水拾ヶ領組合村絵図	白石家 5939
	[葛西用水十ヶ領組合村絵図]	白石家 5972
	武蔵輿地図	中島家 252
慶長10、17、18、19	平須賀村年貢割付状	船川家 954~957
寛永 4 (1627)	下総国勝鹿郡幸手内平須賀村御検地帳	船川家 964、965
寛永14 (1637)	武州幸手之内平須賀村御検地帳	船川家 966、967
慶安 3 (1650)	下総国葛飾郡庄内領米沼新田御検地水帳	増田家 408、409
延宝 2 (1674)	下総国葛飾郡庄内領米嶋村御検地水帳	小島(栄)家90~93
延宝 3 (1675)	下総国葛飾郡庄内領下柳村御検地水帳	小林家 1~6
延宝 4 (1676)	覚(古利根川筋不動院進退ニ付)	旧不動院 32
明治 8 (1875)	下総国葛飾郡之内管轄換之儀再願他	行政文書 明3679
明治10 (1877)	埼玉県管内区分宿町村名録	中川家 3179
<b>たび重なる洪水</b>		
延宝 3 (1675)	乍恐口上書を以奉願上候事(水損ニ付延納)	小島(栄)家 735
寛保 2 (1742)	武州葛飾郡平須賀村戌年御年貢割付之事	船川家 971
宝暦 7 (1757)	乍恐書付ヲ以御訴申上候(大水ニ付夫食拝借願)	土生津家 4876
明和 4 (1767)	亥年御手伝御普請賃永小前請取帳	千代田家 1
天明 3 (1783)	御用請書願書写	土生津家 648
天明 6 (1786)	[水害ニ付御入用普請願書]	藤城家 557
弘化 3 (1846)	申渡下知書(田畑水腐ニ付)	藤城家 499
弘化 3 (1846)	幸手近郷河川氾濫図	中島家 258
[弘化3] (1846)	利根川流路説明図	川島家 1179
安政 5 (1858)	諸願書控帳	増田家 425
[安政6] (1859)	御用留	小島(栄)家 21
安政 7 (1860)	覚(水難村々窮民救金差出ニ付)	中川家 207
<b>水防と普請</b>		
安永 4 (1775)	庄内古川加藤落合定式浚場所絵図	土生津家 6323
寛政12 (1800)	庄内古川堀継御普請仕様帳并ニ弁納水割合控	増田家 237
天保 9 (1838)	庄内古川堀継御普請潰地小前帳	行政文書 明196
	庄内古川絵図	土生津家 6324
	[普請方萬覚]	小林家 357
[宝暦~文化]	[村々訴願留]	田口(栄)家 241
	赤堀川切広之図	田口(栄)家1797
宝暦11 (1761)	江戸川通水防手当可致置御請書	土生津家 20
文化12 (1815)	御用留	小島(栄)家 10
文久元 (1861)	地守一札之事	観音寺 35
明和 9 (1772)	[八甫村堤切所普請ニ付]	船川家 1341
享和 3 (1803)	権現堂川通水防人足請印帳	藤城家 1607
寛政 6 (1794)	乍恐以書付奉申上候(水防之仕方ニ付)	遠藤家 23
文化 2 (1805)	石川左近将監様御奉行所江奉差上候願書之控	白石家 5389
明和 7 (1770)	乍恐以書付奉願上候(悪水落込、関東流ニ伏替願)	土生津家 4941
	樋類閘棹掛渡井橋類雛形	田口(栄)家 283
<b>用悪水とその管理</b>		
享保11 (1726)	御請証文写(用水ニ付)	白石家 5378



年号(西暦)	文書名	文書番号
文化2 (1805)	石川左近将監様御奉行所江奉差上候願書之控	白 石家 5392
天明6 (1786)	御普請組合高帳	白 石家 5860
文政10 (1827)	幸手領内鑑	藤 城家 1188
文政13 (1830)	願書(写)全(用水普請)	幸手図書館 30
天保12 (1841)	中嶋村用水木津内村江御模様替ニ付願書控他	小 林家 2589
弘化4 (1847)	庄内古川悪水路藻刈丁場間数帳	藤 城家 73
文久2 (1862)	幸手領他用悪水路絵図	田 口(栄)家 2343
	葛飾郡領々絵図	田 口(栄)家 1799
	葛飾郡南部用水絵図	田 口(栄)家 1800
	武州埼玉郡騎西領七十八ヶ邑之内図	白 石家 5970
	[葛西用水路絵図]	白 石家 5974
	関東川々村附絵図	武 笠(寛)家 1187
正徳4 (1714)	[平須賀村神扇村地境裁許絵図]	船 川家 2250
享保11 (1726)	指上申一札之事(中島用水、悪水浚ニ付出入裁許請書)	土生津家 4977
享保16 (1731)	[神扇落、安戸落取付迷惑ニ付願書](前欠)	土生津家 6325
元文3 (1738)	乍恐以書付奉願上候(上流安戸沼落新堀願取下ヶ願)	土生津家 5985
天明2 (1782)	障り願書 安戸落堀関梓御吟味留書	土生津家 4638
嘉永2 (1849)	字庄内古川一条五拾三ヶ村愁訴之控	遠 藤家 18
嘉永5 (1852)	武蔵下総两国境庄内古川一件済方議定(治水出水)	田 口(栄)家 170
<b>舟運と産業</b>		
明和元 (1764)	願書其外写帳	土生津家 1
明和8 (1771)	村鑑帳	長谷川(勇)氏 34
安永2 (1773)	一札之事(津出し場村持ニ付)	鈴 木(宗)家 66
[天保15] (1844)	仕切	中 川家 40
嘉永2 (1849)	送り状	中 川家 420・435
文久元 (1861)	権現堂河岸支配請印帳	白 石家 143
明治6 (1873)	村方諸船取調下帳	中 川家 1824
貞享元 (1684)	家守手預之事(手形)	小 島(栄)家 364
文化4 (1807)	差上申田方耕地始末之事(田方耕作御尋ニ付)	藤 城家 1611
弘化3 (1846)	農業日記帳	幸手図書館 202
嘉永3 (1850)	農業日記帳	幸手図書館 203
天保8 (1837)	村差出銘細帳	長谷川(勇)氏 26
<b>村の生活と文化</b>		
宝暦5 (1755)	入置申証文之事(上金崎村香取祭礼惣代)	土生津家 5462
天明3 (1783)	一札之事(村取極)	藤 城家 525
享和3 (1803)	武蔵国葛飾郡大島村郷約之事	藤 城家 1609
文政2 (1819)	議定取極帳	船 川家 28
享保19 (1734)	奉願候神位之事	船 川家 1416
天明6 (1786)	差上申済口証文之事	高 崎家 19
文政7 (1824)	新八拾八ヶ所案内記	田 口(栄)家 1248
天保2 (1831)	[香取明神大破ニ付]	船 川家 1422
文化9 (1812)	道中日記帳	藤 城家 1604
文化14 (1817)	日記	大島有隣 15
文政9 (1826)	心学心得草	船 川家 2353
	石田先生事蹟	藤 城家 937
	心学問答	大島有隣 2、3
	句集綴	田 口(栄)家 1948
明治11 (1878)	下毛都賀八景見立句合	中 川家 2860
	狂歌集	田 口(栄)家 757

※期間中、一部展示替します。

品名	数量	単位	出品者	備考
生糸	...	...	...	...
...	...	...	...	...

明治四十年十月  
出品台帳  
大日本蚕糸会 埼玉支会第1回品評会  
強絲會

路線名	電化区間	電化開始日	電化完了日	備考
...	...	...	...	...

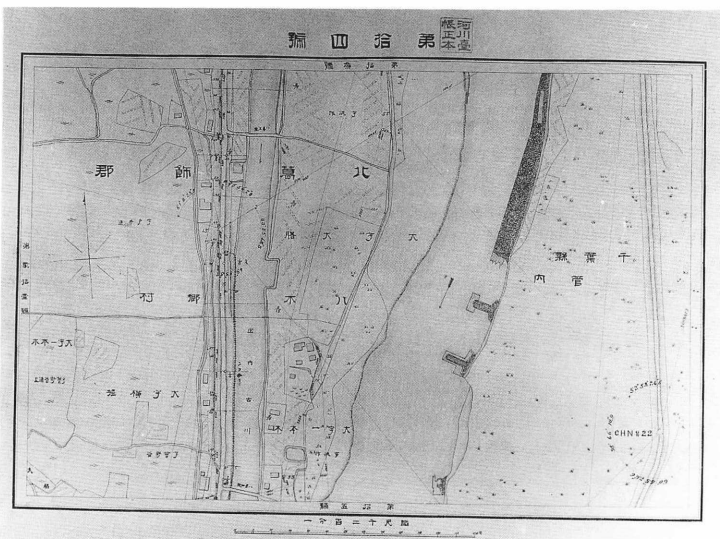
出品台帳(大日本蚕糸会 埼玉支会第1回品評会)  
(A10576 蚕業試験場)

東北線電化関係  
(A1 企画部総務課)

### 歴史資料

当館では、第2種文書(保存年限が10年、5年、3年、1年の有期限文書)について、昭和44年から歴史資料として将来に残すため価値ある文書を選別収集してまいりました。その収集冊数は、12,000冊余りに達しております。

平成3年2月には、「歴史資料の保存及び利用に関する規程」を制定しまして、30年経過した文書について歴史資料として利用できるように手続きを整備しました。今回の展示では、平成3年度現在までに利用の対象になります歴史資料1,000冊余りのうち、幅広い分野から資料を30点ほど展示しましたので御覧ください。



北葛飾郡河川台帳正本 (A2006 河川台帳)

埼玉商品陳列所  
海と空の博覧会  
...

海と空の博覧会綴  
(A1208 埼玉県商品陳列所)

## 展 示 文 書 目 録 (歴史資料)

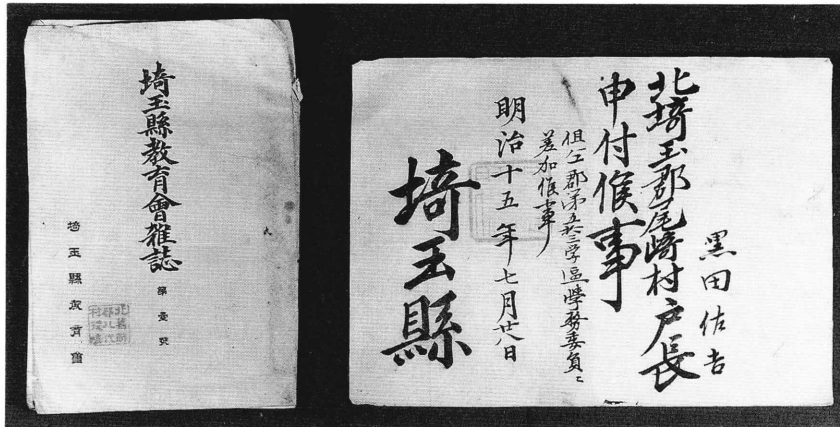
文書年度	類 名	登 録 番 号	課 所 名
昭和 33	東北線電化関係	A 1	企 画 部 総 務 課
33	国道甲府熊谷線改修促進関係綴	A 2	企 画 部 総 務 課
32～34	軌道交通網関係	A 314	企 画 部 総 務 課
23	常住人口調査結果	A 746	統 計 課
30	統計関係報告書	A 751-3	統 計 課
31	輸出産業生産実態調査結果表	A 757	統 計 課
31	郷土に古くから伝承される民芸行事	A 8233	統 計 課
34	中川調査小委員会関係	A 325	企 画 室
35	市町村区域内町字設置、廃止、変更(川越市)	A 362	地 方 課
28	占領軍調達史編纂関係	A 7541	渉 外 課
29	労務管理史 熊谷渉外労務管理事務所	A 7575	渉 外 課
35	蚕繭共済の箱当基準収繭量設定綴	A 481	農 政 課
33～34	新農村漁村建設推進関係綴	A 141	農 政 課
7	大落古利根川筋排水改良事業関係図	A 4223～4228	耕 地 課
35	中小河川改良中川上流外 3 川実施認可設計書	A 587	河 川 課
25	中川水系写真集	A 11329	河 川 課
26	中川水系現況写真集	A 11330	河 川 課
明治39～40	出品台帳(大日本蚕糸会 埼玉支会第1回品評会)	A 10576	蚕 業 試 験 場
大正 1	埼玉県気象月報他	A 10543	蚕 業 試 験 場
15	関東州家蚕10ヶ年計画書	A 10584	蚕 業 試 験 場
昭和16～20	蚕種製造実績台帳	A 10589	蚕 業 試 験 場
27	黒目川平面図	A 9556	南部河川改良事務所
26	中川平面図第1号	A 6147～6150	南部河川改良事務所
28	島川平面図 中川上流 1/1000	A 6194	南部河川改良事務所
28	島川筋地貌図 中川上流	A 6195	南部河川改良事務所
3	東北産物博覧会綴	A 1154	埼玉県商品陳列所
3	京都大博覧会綴	A 1157	埼玉県商品陳列所
3	御大典奉祝名古屋博覧会綴	A 1158	埼玉県商品陳列所
4	往復書類綴	A 1185	埼玉県商品陳列所
3	海と空の博覧会綴	A 1208	埼玉県商品陳列所
3	国産品愛用甲府勸業博覧会埼玉県関係書類	A 1215	埼玉県商品陳列所
31	民俗調査報告書(村制)	A 658	社 会 教 育 課
32	民俗調査報告書(婚姻、習俗)	A 659	社 会 教 育 課
26～35	県指定文化財指定申請書	A 5253-2	社 会 教 育 課
	北葛飾郡河川台帳正本	A 2006	河 川 台 帳
	中川河川台帳平面図(10葉の1～10葉の10)	A 6259～6268	河 川 台 帳

※期間中、一部展示替します。

——新収蔵文書コーナー—— 展 示 目 録

番号	文 書 名	年 号 (西曆)	文 書 群 名
1	関八州旅日記	嘉永4 (1851)	岸田氏収集文書
2	現行類輯埼玉県達全書類例一覧	明治19 (1886)	岸田氏収集文書
3	永代雑書三世相	天保11 (1840)	中村氏収集文書
4	埼玉県教育会雑誌 第壹号	明治39 (1906)	船川家文書
5	少年 第二百四号	大正9 (1920)	船川家文書
6	北埼玉郡尾崎村戸長辞令	明治15 (1882)	黒田家文書
7	暮しの手帖 28号	昭和30 (1955)	室氏収集文書
8	献金年賦順再延願 (熊谷駅)	明治18 (1885)	野口氏収集文書
9	涌谷五万分一地形図 (所沢陸軍飛行学校旧蔵)	大正4 (1915)	渡辺氏収集文書
10	海軍兵須知提要		岡安(博)家文書

※期間中、一部展示替します。



(左) 埼玉県教育会雑誌 創刊号  
(船川家文書)

(右) 尾崎村(現羽生市)戸長辞令  
(黒田家文書)

文 書 館 利 用 案 内

- 開館時間 / 9:00～17:00
- 休 館 日 / 月曜日・国民の祝日・休日・毎月末日  
年末年始(12月27日～1月5日)  
特別整理期間(春秋10日間以内)
- 交通案内 / JR京浜東北線・高崎線・宇都宮線 浦和駅西口下車徒歩12分  
JR埼京線 中浦和駅下車徒歩15分  
国際興業バス 県庁裏下車(浦和駅↔大宮駅) 徒歩0分